

大原薬品工業株式会社、第三者割当増資実施のお知らせ
—5億8,000万円を調達、資本金は1億9,175万円から4億8,175万円
ジェネリック医薬品事業を大幅拡大—

ジェネリック医薬品メーカーの大原薬品工業株式会社(本社:滋賀県甲賀市、代表取締役社長:大原 誠司、以下大原薬品)は2006年5月12日をもって、既存出資者4社と新規出資者2社を割当先とする第三者割当増資を実施致しました。

記

1. 増資の目的

今回の第三者割当増資の目的は、処方せん様式の変更に伴い、ジェネリック医薬品市場の拡大が予測される中、より一層の研究開発への投資を拡大することにあります。また、戦略的事業パートナーとの関係を強化し、安定供給の基礎となる国際的な供給能力、とくに安定供給のキーポイントであるMF*対応の強化を目指します。さらに、昨年度から開始した、ガン領域でのスペシャリティ事業の基盤強化を実施します。

*MFとは: 医薬品(製剤)中で使用している原薬等の品質・製造方法に係るデータを当該製造業者等が審査当局に任意登録しておく制度です。

2. 概要

今回の第三者割当増資により、大原薬品は5億8,000万円を調達しました。このうち半額の2億9,000万円を資本金に組入れ、増資後の資本金は1億9,175万円から4億8,175万円となりました。なお、残りの2億9,000万円は資本準備金に充当しています。また、今回の増資により、既存出資者である伊藤忠ケミカルフロンティア株式会社、稲畑産業株式会社、CBC株式会社が筆頭株主(持株比率 各17.24%)となりました。

3. 今回の第三者割当増資の出資者

(既存出資者)

- 伊藤忠ケミカルフロンティア株式会社
- 稲畑産業株式会社
- CBC株式会社
- 大阪中小企業投資育成株式会社

(新規出資者)

- 株式会社滋賀銀行
- 株式会社M&A フューチャー

(順不同、敬称略)

◆ 大原薬品工業株式会社について ◆

大原薬品工業株式会社は、医療用医薬品・一般用医薬品・ファインケミカルの製造並びに販売、及びこれらの輸出入業務を行う製薬企業です。1957年の創業以来、特に医療用医薬品(ジェネリック医薬品)を中核事業として拡大を図っております。

大原薬品工業株式会社の特色は、海外の大手ジェネリックメーカー同様、ジェネリック医薬品の製造と同時に原薬の製造も手がける点にあります。改正薬事法下で義務付けられているMFの対応を含め、全工程をカバーできる医薬品企業として独自のポジションを築いています。

URL: <http://www.ohara-ch.co.jp>

本件に関するお問い合わせ先:

大原薬品工業株式会社

担当: 井用、藤田

TEL: 0748-88-2200 e-mail: info@ohara-ch.co.jp

